

野生動物を撮影しよう！ (ICT活用プログラム)

| | |
|-------|---|
| 活動の概要 | 国立信州高遠青少年自然の家には、たくさんの野生動物が訪れます。トレイルカメラを使って、自然の家を訪れた動物たちを撮影してみます。 動物の習性や足跡、地形などから、動物たちがどこに現れやすいのかをみんなで一緒に考えて、カメラを設置してみましょう。 |
| 対象 | 小学5年生以上 30人程度 |
| 期間 | 通年 |
| 所要時間 | 2日～ 1日目：説明 30分程度、カメラ設置 1時間程度 2日目：カメラ回収 30分程度、まとめ 1時間程度 |
| 活動場所 | 自然の家敷地内 + 学習室 |
| 準備する物 | 利用団体：単3乾電池（一台につき4本）・USB等記録媒体(データを持ち帰る場合) 自然の家：トレイルカメラ（最大5台）・無線・PC（1台） プロジェクター・スクリーン・カードリーダー |
| 留意事項 | ① この活動には研修指導員はつきません。事前に職員と、方法等について打ち合わせを行ってください。 |
| | ② 設置してから一晩程度時間を空ける必要があります。 |
| | ③ 学習に使うスライド（PPT）とワークシート（word）は、事前に当施設HPよりダウンロードし、適宜改変してご利用ください。 |
| | ④ プログラムが終了した際は、SDカードからデータを削除してください。 |

展 開 例

| | |
|--|-------|
| 活動内容 | |
| 1日目 | |
| (1) 人数の確認、健康状態の観察をする。 | } 30分 |
| (2) 導入資料を用い、以下の注意点を意識して全体説明をおこなう。 ・トレイルカメラの使用方法を確認する。 ・地図を用いて、活動エリアを確認する。 ・動物を見つけるための手がかりを共有する。 | |
| (3) 終了時刻と集合場所を確認し、スタートさせる。 バラバラに行動せず、班ごと必ずまとまって行動する。 たくさん相談して、協力して設置する。 | |
| (4) 設置し終わった班を集合場所で待機させる。（1日目はこれで終了） | } 1時間 |
| 2日目 | |
| (5) 1日目に設置したカメラを回収させる。 | } 30分 |
| (6) 班ごとに録画した動画を確認し、映った動物を共有する。 | } 1時 |
| (7) 活動のまとめ、反省を行う。 | |

野生動物を撮影しよう！ (ICT活用プログラム) 【ワークシート】

班 名前 _____

【1日目】

Q1. どんな動物がいるだろうか？考えてみよう。

Q2. 動物が現れるのはいつだろうか？また、理由も考えてみよう。

Q3. 動物が通りそうな場所はどんなところだろうか？考えてみよう。

Q4. 動物が通る場所には、動物のどんな^{こんせき}痕跡が残っているだろうか？考えてみよう。

5. カメラを^{せつち}設置した場所を地図に記入し、そこに決めた理由を^{きろく}記録してみよう。



【2日目】

- 6.ほかの班はどんなところにカメラを設置したか地図に記入してみよう。
映った動物や、設置した理由をメモしよう。



《映った動物や、設置した理由をメモしよう》

記入例)
1班：シカが1頭。足あとがあったから。

7. 活動のふりかえりをしよう。(気づきや学び、感想など)

A large empty rectangular box for students to write their reflections on the activity, including any observations or feelings.

野生動物を撮影しよう！

国立信州高遠青少年自然の家 ICT活用プログラム

自然の家の周りには、
野生動物がたくさんいます！

Q1：どんな動物がいますか？



自然の家ではこれらの動物を見かけることができます。

Q2

たくさんの動物がいるはずなのに、
なかなか見かけることができないのは
なぜでしょうか？

動物が現れる時間とその理由を考えてみましょう。

昼間に動物を見かけない理由

- ・夜行性の動物が多いから
- ・人の気配がすると近づいてこないから

このプログラムではトレイルカメラを
使って夜の動物を観察していきます！



トレイルカメラ

動くものが写った時だけ作動するカメラ

私たちがいない場所や時間に
現れる動物を撮影できる！

Q3 でも、どこにトレイルカメラを
しかければいいのでしょうか？



動物が通りそうな場所とはどんなところ
でしょうか？考えてみましょう。

Q4 動物が通りそうな場所にはどんな
こんせき痕跡がのこっているのでしょうか？



≡ ここで！ ≡

動物の  クイズ !!

シカ



ウサギ



イノシシ



出発前に確認しよう

- ①トレイルカメラの使い方
- ②活動エリア・集合場所・集合時間
- ③動物の種類と、それぞれの痕跡
- ④安全に活動するために気をつけること

①トレイルカメラの使い方

②活動エリア・集合場所・集合時間

③動物の種類とそれぞれの痕跡

④安全に活動するために気をつけること

- ①歩道から外れて歩かないようにする
 - ・草木がおいしげっているところには入らない
 - ・がけには近づかない
- ②カメラを取りつける時に木のとげに気をつける
- ③動物を見かけてもおいかけないこと
- ④ツタウルシにはさわらないようにする

④安全に活動するために気をつけること

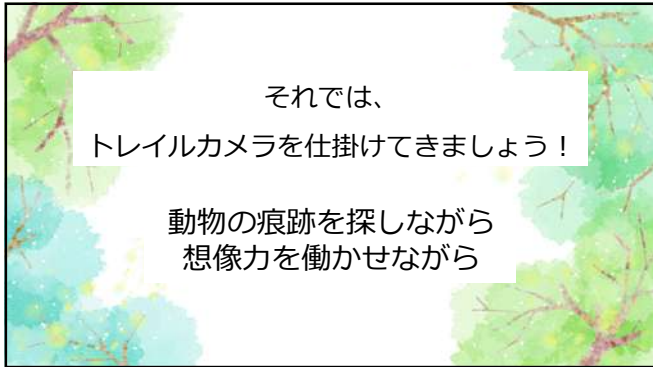
ツタにまかれている木には近づかないようにしましょう！

※秋はきれいな赤色をしています。



注意！

- ① 約束の時間までに戻ってきましょう
- ② 活動エリアを出ないようにしましょう



それでは、
トレイルカメラを仕掛けてきましょう！

動物の痕跡を探しながら
想像力を働かせながら

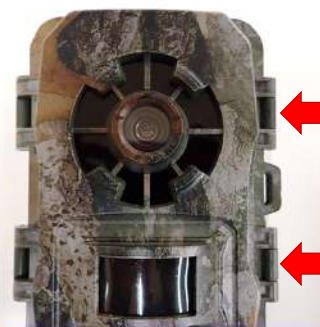
野生動物を撮影しよう！ (ICT活用プログラム)

トレイルカメラの使い方

動画を撮ろう



1



ここをはずしてあげる。

2



電池をいれる。

3



スイッチを"ON"にする。

4



木などにくくりつける。

5



ベルトをしめる。

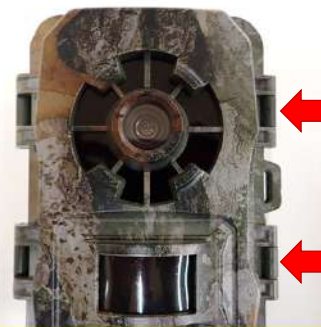
信州高遠青少年自然の家

トレイルカメラの使い方

動画をみよう



1



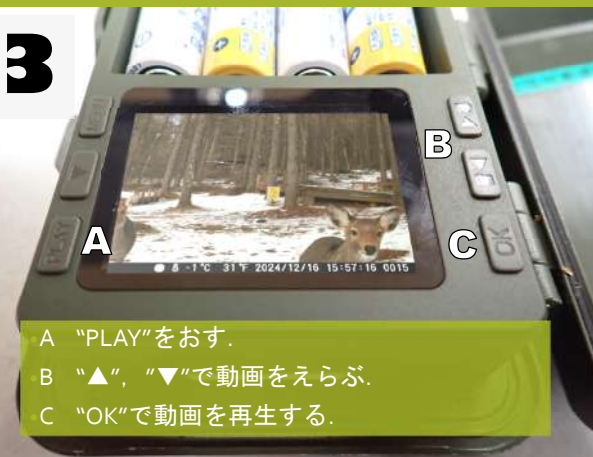
ここをはずしてあげる。

2



スイッチを"TEST"にする。

3



- A "PLAY"をおす。
- B "▲", "▼"で動画をえらぶ。
- C "OK"で動画を再生する。

4



- D 気温
- E 動画をとった日、時間
- F 動画の番号

5



おわったらスイッチを"OFF"にする。

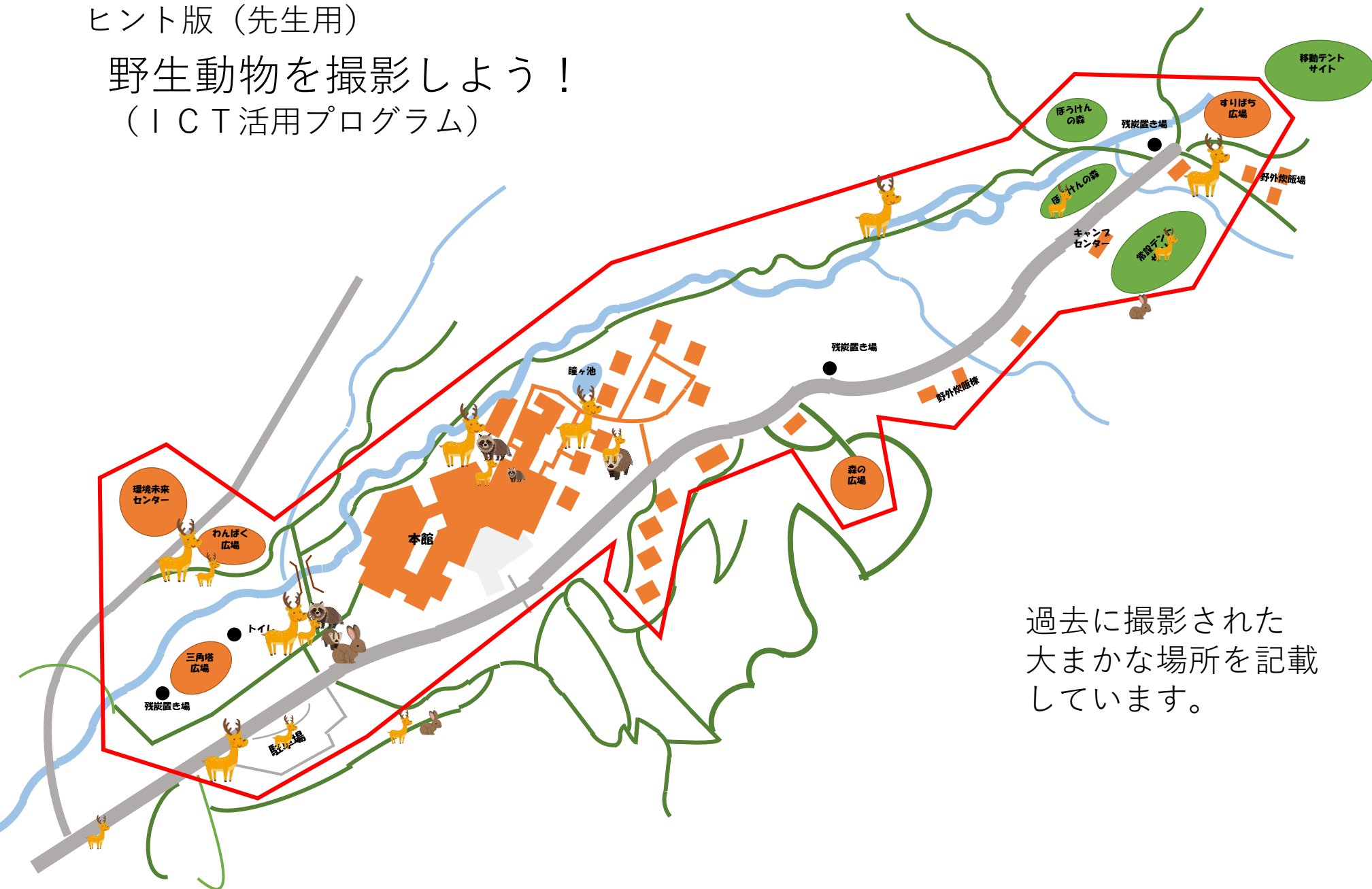
野生動物を撮影しよう！ (ICT活用プログラム)



ヒント版 (先生用)

野生動物を撮影しよう！


(ICT活用プログラム)



過去に撮影された
大まかな場所を記載
しています。

野生動物を撮影しよう！ (ICT活用プログラム)

自然の家のまわりにいる 主な野生動物たち

-  レベル：トレイルカメラでの撮りやすさを表しています。
レベル1・2：どちらかというと撮影しやすい。
レベル3・4：なかなか撮影できない。撮れたらすごい。
レベル5：撮影できたらスーパラッキー。自慢しよう。

キツネ

 レベル★★★★☆☆



【足あと】



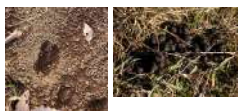
- 主に早朝と夕方に活動する。
- 用心深い性質で、人が来るようなところでは夜行性になることもある。
- ネズミなどの小動物や、こん虫・ミミズなどを主に食べるが、果実や鳥のタマゴなども食べる。
- 足あとにはツメあとが残る。
- かたはばがせまいので、歩いたあとは直線的になる。

シカ

 レベル★☆☆☆☆



【足あと】【フン】



- 日中も活動するが森林内で休むことが多く、主に夕方から早朝に活動する。
- 草食性で草や木の葉・実、果実などを食べるが、冬には木の皮や落ち葉、きのこなども食べる。
- 毛色は季節で変わる。夏は茶色地に白いまだら模様。（「鹿の子模様」と呼ばれる）冬は灰褐色（はいかっしょく）になり、まだら模様も消えることが多い。

ウサギ

 レベル★★★★☆☆



【足あと】



- 早朝や夕方に活動することが多い夜行性。
- 昼間は木の根元や岩かげ、草むら、ヤブの中で休んでいる。
- 前足を前後につくので、足あとがT形の形になる。
- フンは直径1cmくらいの丸形。

タヌキ

 レベル★★★★☆☆



【足あと】



- イヌ科の動物。
- 番（つがい）や家族群で生活している。巣は地面に穴をほってつくることもあるが、木のウロや岩穴なども利用する。
- 雑食性で、ネズミやカエル、こん虫やヘビなども食べるし、果実や木の実、球根なども食べる。
- タヌキは同じ場所に毎日フンをする。この習性は「タヌキのためフン」と呼ばれる。

テン

 レベル★★★★☆☆



【足あと】



- イタチに似ているが、テンはイタチよりも一回りほど体が大きい。
- 夜行性の動物で、昼間は岩穴や木のウロなどで休んでいると言われている。
- ナワ張りをもった生活をしていて、においを付けるなどして自分のナワ張りを主張する。
- 雑食性で、季節に応じてさまざまなものを食べる。

アナグマ

📷 レベル★★★★☆



- 目の周りは黒褐色(くろかつしよく)で、その間が白っぽい色をしている
- 主に夜に活動する夜行性。
- 雑食性で、ミミズやこん虫、カエル、モグラ等のほか、果実や木の根・実など何でも食べる。
- 巣穴は地面をほって作られ、大きいものだと入口がいくつも作られる。
- 寒い地域ではクマのように冬眠する。

【足あと】



シジュウカラ

📷 レベル★★★★★



- 全長約15cmで、スズメくらいの大きさ。
- 白いほほとおなかの黒い帯が特ちょう。おなかの様子は「ネクタイ」と呼ばれたりする。
- 1年中見られるが、特に11月～5月が見つけやすいとされている。
- 小首をかじげたり、くるりと向きを変えたりと、1つ1つのしぐさがかわいらしい。

イノシシ

📷 レベル★★★★☆



- 昼間も活動するが、日中は休んでいることが多く、早朝や夕方に活発に動き回る。
- 水場が近いところを好み、水浴びやドロ浴びをする習性がある。
- 体を樹木にこすり付けたりするが、これは体についた寄生虫を除くためと考えられている。
- 力が強いだけでなく、走るのも速い。時速45km程で走ることができる。

【足あと】



キセキレイ

📷 レベル★★★★★



- 全長約20cmの細身でしっぽの長い鳥。
- 水辺やけい流に沿って生活するものが多い。
- 胸から腹にかけて黄色いところからキセキレイと名がついた。
- いつもしっぽを上下に動かす習性があるので「石たたき」とも呼ばれたりする。

リス

📷 レベル★★★★★



【森のエビフライ】



- 体が小さい上に警戒心(けいかいしん)が強く、見つけることが難しい。
- 昼間に活動する。特に早朝と夕方には活発に活動する。
- ドングリや松の種子を好むと言われている。リスが食べた後の松ぼっくりはその形から「森のエビフライ」と呼ばれたりする。

カモシカ

📷 レベル★★★★★



- 全長1m。名前に「シカ」と入っているが、シカのなかまではない。ウシ科。
- 顔の下にはひげのように羽毛がふさふさ生えていて、頭には10～15cmくらいの角を持っている。角の外側には耳が立っている。
- 国の「特別天然記念物」に指定された貴重な動物である。
- 自然の家のキャラクター「ログちゃん」もカモシカである。